

参議院議員

# イハ洋一 後援会たより



イハ洋一後援会（沖縄事務所）

〒901-2203 沖縄県宜野湾市野嵩2丁目1-8-101  
TEL&FAX: 098-892-7734

国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館519号室  
TEL/03-6550-0519 FAX/03-6551-0519

Vol.02

2018年7月10日発行

[伊波洋一オフィシャルサイト]

[www.ihayoichi.jp](http://www.ihayoichi.jp)

基地のない  
平和な沖縄を

## CONTENTS

- p2 ごあいさつ・後援会共同代表あいさつ
- p3 オール沖縄2017年第2次訪米団報告
- p4 活動記録スナップ
- p6 国会活動報告
- p8 各種委員会質疑一覧・ホームページの紹介

## ごあいさつ 参議院議員 伊波洋一 (会派・沖縄の風)

ハイサイ! グスーヨー(御衆様) チュー(今日) ウガナビラ(拝なびら)。

皆様からの議員活動への御支持、御支援に対し心から感謝申し上げます。私の国会活動も2年になり、系数慶子議員と結成した会派「沖縄の風」として外交防衛委員会、行政監視委員会等で活動しています。「沖縄の風」はNHKが中継する予算委員会や本会議の登壇はありませんが、各委員会の議事録や録画は参院ネットや私のホームページの「国会活動報告」で見ることができます。ぜひ、ご確認ください。



さて、国会は2年にわたり「森友・加計問題」が焦点でした。安倍首相による国政「私物化」、ともいべきこの二つに共通しているのは、省庁による公文書改ざんを含む徹底した隠蔽工作です。重要法案の働き方改革法案やPKO日報問題等でも、データのねつ造、隠蔽が行われました。安倍政権では、都合の悪いことは隠し、都合の良いデータだけを出して強引に政策を進める手法が横行しています。

同様なことは、沖縄の基地建設にも言えます。高江のヘリパッド建設では全国から機動隊を動員して座り込む市民を排除し、貴重生物種の宝庫であるやんばるの森を破壊し、予定された手順を無視して複数同時進行で工事を進めました。辺野古新基地建設工事では、ボーリング調査で軟弱地盤が見つかったもデータを明らかにせず、埋立順序を辺野古地先に変えました。辺野古地先の埋め立てでは、「環境保全図書」にある海草藻場の移植等の保全措置を全く取り組むことなく、土砂を投入すると通知しました。

私は、外交防衛委員会で「環境保全図書」違反を厳しく追及しています。「環境保全図書」違反や「埋立承認書の留意事項」違反は、「取り消し撤回」の重要な根拠になると考えます。

さて、翁長雄志沖縄県知事は、突然の入院で多くの県民が心配したものの元気に公務復帰しました。6月23日「慰霊の日」の平和宣言で、沖縄の過重な基地負担を訴え、朝鮮半島の緊張緩和の流れにも逆行する辺野古新基地建設は全く容認できないとし、「辺野古に新基地を造らせない」との決意を力強く表明しました。

11月の県知事選に向け、翁長知事を支える政党・労働組合・平和団体は一致して翁長知事の再選に向けた取り組みを始めています。

私も11月の県知事選で翁長知事の再選を実現できるように最大限に取り組む決意です。後援会の皆様にも9月の統一地方選、那覇市長選での城間幹子市長の再選、県知事選での翁長雄志知事の再選に、御支持、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 『沖縄建白書』の実現まで、 私たちは決してあきらめない—

イハ洋一後援会共同代表



石川元平



町田宗徳



東門美津子



高里鈴代



下地学

日頃より伊波洋一ならびに、イハ洋一後援会の活動への御支持と御支援に心より感謝申し上げます。参議院議員として伊波洋一議員は、これまで外交防衛委員会で辺野古・高江問題、最近では、普天間第二小学校や緑ヶ丘保育園の米軍ヘリによる部品落下問題などを主要なテーマに据えて舌鋒鋭く政府を追及してきました。これからも県民のために粉骨砕身頑張ってください。イハ洋一後援会共同代表の全員が今後の活躍に期待しています。

さて、2016年8月1日の国会初登院からあっと言う間に2年の歳月が過ぎました。8月より3年目に入ります。今年の秋には各市町村議員選挙(統一地方選)や県都である那覇市長選挙、天王山の沖縄県知事選挙などをひかえており、イハ洋一後援会にとっても試練の年となっています。沖縄の未来を切り拓くため、伊波さんの実践力と行動力をフルに活かし、翁長知事と力をあわせ、沖縄県民の誇りと尊厳を守り抜きましょう。イハ洋一後援会も全力で伊波洋一議員を支えて沖縄県民のために奮闘することを誓います。

『沖縄建白書』の実現まで、私たちは決してあきらめない—

# オール沖縄2017年第2次訪米団報告 団長 伊波洋一

2017年8月17～23日、国会議員、県議会議員、労働組合、環境・女性団体、若者代表の21名と通訳4名の「オール沖縄2017年第2次訪米団」に団長として参加した。

8月17～19日、カリフォルニア州アナハイムの「アジア・太平洋系アメリカ人労働連盟」(Asian Pacific American Labor Alliance、APALA) 結成25周年大会に参加した。大会では、ブースを設置し、ワークショップも開催して、辺野古新基地問題と高江ヘリパッド問題を訴えた。APALA は辺野古新基地建設中止と高江ヘリパッド建設中止を求める決議を可決してくれた。その後、昨年12月と今年5月の全国執行委員会で2回、「沖縄の人々を支援する決議」を採択、60万人の加盟組合員に沖縄での基地拡張を終わらせるため各地区で働きかけるよう求め、APALA 会員の沖縄への訪問を呼びかけた。25周年祝賀会では、訪米団も全員で登壇してサンシンで沖縄民謡を歌い、多くの米参加者がカチャーシーの輪に入って来て感動的だった。

20日にサンフランシスコへ移動し22日までベイエリア地区での要請活動を行った。APALA 大会と並行して米軍基地視察、返還基地浄化対策の視察、環境団体・平和団体・労働団体との交流、国連特別報告者デビッド・ケイ教授との意見交換、県人会交流などを行った。20日ジュゴン訴訟でサンフランシスコ連邦高裁が、地裁判決を差し戻す原告勝訴判決を出したので、皆で勝訴を祝った。差し戻し審は今年6月28日に公開審理が行われ、秋に判決の予定。



APALA 全国議長と面談



祝賀会でカチャーシー



マーク・タカノ下院議員



バーバラ・リー下院議員事務所

国会議員・県議団を私と糸数慶子議員の2グループに分け、17～22日に6名の連邦議会議員事務所を訪ねた。日系のマーク・タカノ下院議員は議員本人が応対、バーバラ・リー事務所は沖縄基地問題の解決に協力すると約束してくれた。働きかけを継続していくことが大切だと感じた。今後も米国連邦議会や労働組合、平和団体、環境団体などへ働きかけていきたい。

## 新聞記事 (抜粋)

参議院議員伊波洋一の活動や発言を紹介した新聞記事を抜粋して掲載します。



**沖繩戦 後世に継承**  
伊波洋一参議院議員(沖縄の風)  
沖繩戦を忘れてはならない。後世に継承しよう。沖繩では戦争のための新たな基地づくりが辺野古や宮古島・石垣島で始まっている。二度と沖繩を戦場にさせたくない。平和を守るためにも慰霊の日に祈ろう。

琉球新報 2018年6月23日

### 新しい装備



#### 記者席

○…普天間第二小  
米軍ヘリ墜落事故など普天間飛行場所属機の事故が相次いで発生していることを受け、抗議のために防衛省を訪れた伊波洋一参議院議員(沖縄の風)。沖繩視察時に左足をねんざしてサポーターをはめた福田達夫政務官に、部屋に入るなり「新しい装備ですか」と発し、その場は少し和やかに。それでも防衛省のデータを基に米軍が飛行経路を守っていない事実を明示することも忘れなかった。冗談交じりのつかみも「新しい装備」?(東京)

琉球新報 2018年1月4日

### 記者のメモ



#### 追及続くよどこまでも

○…参院外交防衛委員会で米軍普天間飛行場問題を追及したが、小野寺五典防衛相の答弁に物足りない様子。伊波洋一参議院議員(沖縄の風)。5年以内の運用停止を「困難」とする政府の請を聞き、「もっと説明して」。さらに米軍ヘリの航跡と学校の位置を示した資料の作成を要求しても防衛省が応じないため、自作の資料を示して「正確かどうかを認めるか」と追った。それでも拒否する小野寺氏に「納得いかない」と粘り腰。ここで時間切れとなったが、次回以降も追及は続く。(東京)

沖縄タイムス 2018年3月22日

# 活動記録スナップ

## オール沖縄第2次訪米団



2017年8月16日 訪米団出発式



2017年8月19日 オール沖縄会議訪米活動PTのメンバー (APALA25周年大会総会会場)



2017年10月10日 第1回口頭弁論裁判支援集会 (辺野古差し止め訴訟)



2017年10月11日 政策集団新しい風にぬふあぶし結成



2017年10月12日 米軍CH-53大型ヘリ墜落現場高江区視察



2017年10月12日 米軍CH-53大型ヘリ墜落現場高江区視察



2017年10月25日 「10・25海上行動辺野古浜集会」



2017年10月25日 高江ヘリ墜落現場で土地所有者の西銘さんから話を聞く



2017年11月29日 うりずんの会「ヘリパッドいらない住民の会」による防衛省へのCH53墜落に関する抗議・要請行動



2017年12月4日 うりずんの会 アメリカの沖縄ジュゴン訴訟関係者との意見交換会



2017年11月1日 安倍9条改憲を許さない! 安倍政権の退陣を要求する11.1国会開会日行動



2017年12月14日 普天間爆音訴訟第三回口頭弁論事前集会



2017年12月14日 普天間第二小学校 米軍ヘリによる窓枠落下事故現場視察



2017年12月14日 緑ヶ丘保育園 部品落下抗議要請 (沖縄防衛局)



2017年12月14日  
緑ヶ丘保育園部品落下事故抗議要請 (沖縄防衛局)



2017年12月15日 欠陥機オスプレイ墜落から1年抗議集会



2017年12月22日  
沖縄の風申し入れ 防衛省へCH-53窓枠落下について



2017年12月19日 城間那覇市長要請



2017年12月20日 IWJインタビュー



2017年12月22日  
沖縄県東京事務所訪問



2017年12月30日  
瑞慶覧チョービンさん激励



2018年2月22日 国際経済外交調査会視察



2018年1月10日 うりずんの会申し入れ 防衛省



2018年3月22日 全国高校生未来会議



2018年2月5日 BSプライムニュース



2018年2月19日  
参院外交防衛委員会派遣 (普天間第二小)



2018年4月13日 「安倍政権退陣! 森友徹底究明!  
9条改憲NO! 辺野古新基地建設阻止! 県民集会」



2018年5月26日 辺野古国会包囲



2018年5月13日 「5.15平和行進」



2018年6月7日 3000万署名提出集会

# 国会活動報告

第195回特別会（平成29年11月1日～12月9日）、第196回常会（平成30年1月22日～7月22日）の期間中、各委員会での質疑の内容や参議院「沖縄の風」会派としての要請行動等の活動をまとめて紹介します。

2017年12月21日 内閣府沖縄担当大臣宛

## 沖縄振興予算の要請

2017年12月、内閣府沖縄担当大臣に面談し、2018年度沖縄振興予算に関する要請を行った。沖縄県からの要望も踏まえて、参議院会派「沖縄の風」として、特に待機児童対策としての認可保育園の新增設と認可外園の認可化移行支援の強化、沖縄戦とその後の混乱による国民健康保険財政の欠損を国の責任で財政支援すること、沖縄県における鉄軌道の整備について特例的な法制度を創設して支援すること、大型MICE施設の整備等の予算措置を計上すること、などを求めた。



2017年12月5日、7日 外交防衛委員会

## 沖縄をふたたび戦場にしない （ミドルパワーの安全保障論）

米国は、「エアシーバトル構想」「オフショアコントロール戦略」など、日本列島、特に琉球諸島を戦場として、中国の西太平洋進出を阻止する軍事戦略を構想してきた。安倍政権が進める日米同盟強化、南西諸島のミサイル基地化は、日本を戦場にする道だ。日本は、中国が台頭するなか、米中二大国のはざままで、憲法理念と専守防衛に立脚し、必要最小限度の抑止力を保有する「ミドルパワーの安全保障」をめざすべきだ。そのためには、軍拡ではなく、日中関係の改善、外交による信頼醸成と脅威の低減を行うべきと訴えた。



2018年1月24日、2月8日、5月10日

## 日中平和友好条約締結40周年

2018年1月、全人代（中国の国会）の代表を迎え、第7回「日中議員会議」が開催。2月に日中友好団体新年会で程永華駐日中国大使とご挨拶、5月には李克強総理歓迎レセプションと、中国関連のイベントが続いた。私は、「琉球は1372年の中山王・察度いらい500年にわたり中国と平和的關係を築いてきた。20万人が亡くなった1945年の沖縄戦ののち、米軍は1972年まで占領を継続し、施政権返還後も基地は残り、新たに米軍や自衛隊の基地が計画され、沖縄県民を苦しめている。沖縄をふたたび戦場にしない。すべての紛争を平和的手段により解決し、武力又は武力による威嚇に訴えないことを確認する、日中平和友好条約を再確認し、日中の友好関係をさらに深めよう」と訴えた。



2018年3月20日、23日 外交防衛委員会

## 緑ヶ丘保育園・普天間第二小など 相次ぐ米軍機部品落下事故に抗議

2017年12月、宜野湾市の緑ヶ丘保育園、普天間第二小学校に相次いで米軍ヘリの部品が落下した。子どもに当たってれば、大惨事となるところだった。私が宜野湾市長だった2004年8月に沖縄国際大学に米海兵隊ヘリが墜落炎上した。飛行再開に当たり、07年8月、日米は、普天間飛行場周辺の飛行ルート（場周経路）について合意した。場周経路は、緑ヶ丘保育園や普天間第二小の上を通過していないが、米軍の合意違反は日常化している。日本政府は日本の国民の生命を守るよう、そのために米国に日米合意を守らせるよう、強く訴えた。



2018年3月29日、4月5日、10日、12日、17日、19日 外交防衛委員会

## 日本環境管理基準 (JEGS) の遵守と 高江オスプレイパッドの運用停止

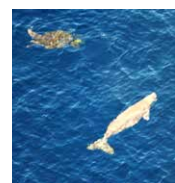
日米地位協定・環境補足協定では、日本環境管理基準 (JEGS) に関して日米で協議することが規定されていること、外務、防衛、環境の3省とも、在日米軍に2000年の日米「環境原則に関する共同発表」、JEGSを遵守させる責務を負っていることを明らかにした。高江オスプレイパッドは「希少生物の生息域の保全」を義務づけるJEGSに違反している。質疑では、オスプレイパッドの運用停止と、米軍に環境を破壊させないための日本政府の体制を確立するよう求めた。



2018年5月24日、29日、6月5日、12日、19日、28日 外交防衛委員会

## 辺野古・海草藻場移植問題

防衛局の土砂投入通知により緊迫する辺野古。新基地建設に反対するとともに、辺野古地先の海草藻場の移植を先行して実施するよう求めた。防衛省は、「アセスには『埋立により海草藻場が消失する』『移植については飛行場が完成してから検討する』と書いてある」などと主張するが、仮に計画通り新基地が建設されても10年近く藻場が回復されないまま放置されることになる。環境省など他省庁にも答弁を求め、環境アセスの趣旨から防衛省の主張が公有水面埋立法に違反する詭弁であること、それでもなお強行しようとする防衛省の姿勢が明らかになった。



# 沖縄の声を国会へ 未来を決めるのは私たち！

## 伊波洋一参議院議員の委員会質疑は計28回、質疑時間合計は7時間10分！

2年目の参議院委員会質疑では、193回（閉会中）の外交防衛委員会（2017年8月30日）を皮切りに、195回（特別会）（2017年12月5日～12月7日）で外交防衛委員会、北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会で安倍政権が進める南西諸島のミサイル基地化等を徹底追及した。

196回（常会）（2018年2月7日～6月28日）では、国際経済・外交に関する調査会、外交防衛委員会に加え、政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会でも質疑を行った。政府が沖縄の民意を無視して強行する辺野古新基地建設問題や宜野湾市緑ヶ丘保育園・普天間第二小学校の相次いだ米軍ヘリの部品落下事故について政府の姿勢を質した。

就任から今年までの質疑累計回数は66回となり、質疑の累計時間は16時間42分となった。

（国政報告、国会質問と議事録一覧は下記のサイトをご覧ください。）



伊波洋一公式サイト  
<http://ihayoichi.jp>



公式Twitter  
<https://twitter.com/ihayoichi?lang=ja>



回次	会議名	日時	質疑時間(分)
193回国会 (閉会中)	外交防衛委員会	2017年8月30日	10
	外交防衛委員会	2017年9月5日	10
195回国会 (特別会)	外交防衛委員会	2017年12月5日	20
	外交防衛委員会	2017年12月7日	15
	北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会	2017年12月21日	10
196回国会 (常会)	国際経済・外交に関する調査会	2018年2月7日	10
	国際経済・外交に関する調査会	2018年2月14日	10
	国際経済・外交に関する調査会	2018年2月21日	10
	外交防衛委員会	2018年3月20日	20
	外交防衛委員会	2018年3月23日	15
	外交防衛委員会	2018年3月29日	20
	外交防衛委員会	2018年4月5日	20
	外交防衛委員会	2018年4月10日	20
	国際経済・外交に関する調査会	2018年4月11日	10
	外交防衛委員会	2018年4月12日	15
	外交防衛委員会	2018年4月17日	15
	国際経済・外交に関する調査会	2018年4月18日	10
	外交防衛委員会	2018年4月19日	15
	国際経済・外交に関する調査会	2018年5月9日	5
	外交防衛委員会	2018年5月15日	20
	外交防衛委員会	2018年5月17日	20
	外交防衛委員会	2018年5月24日	15
	外交防衛委員会	2018年5月29日	20
	外交防衛委員会	2018年6月5日	20
	外交防衛委員会	2018年6月12日	25
	政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会	2018年6月13日	10
	外交防衛委員会	2018年6月19日	20
	外交防衛委員会	2018年6月28日	20

国会内外で活動する伊波洋一参議院議員とそれを支える伊ハ洋一後援会の活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

【郵便振替】口座番号：01740-5-122219 口座名：伊ハ洋一後援会